



震災資料保管庫をリニューアルします。

平成 21年 12月 18日に、よりわかりやすくリニューアル

- この度、震災が発生して15年、震災資料保管庫開設10年を機に、阪神高速道路の沿道地域の皆様や、被災経験のない「未来の技術者の卵」である子供たちにもわかりやすくご覧頂くため、震災資料保管庫を『リニューアル』します。

※本施設は、実際損傷した構造物を保管・展示している他に例をみない施設です。

【リニューアルのポイント】

- ① 被災当時の阪神高速道路損傷状況や損傷メカニズムをはじめ、最新の耐震技術などをわかりやすく説明したパネルや模型を設置。
- ② 未来の技術者となる子供たちや、技術専門家以外の方々にも損傷状況を深くご理解頂くため、見学台を2箇所設置。
- ③ プレゼンテーションルームに、震災当時の新聞や当社社員の復旧活動記録、復旧までの経緯などを示しました。

【見学者受付方法】

- *事前予約制で、なおホームページ上のみの受付とします。
- *開館日は、毎月第1・3水曜日の10:30、13:30、15:30（1日3回）。
所要時間は約1時間。



- また、平成21年12月18日に、当社社会貢献活動の一環である『出前講座』を開講し、一般公募により当選された神戸市立太山寺小学校5・6年生の皆様にご来場頂きます。
- 「震災資料保管庫」は、阪神淡路大震災での被災・復旧経験を風化させることなく語り継ぐため、平成11年10月に開設し、行政関係者や専門技術者、小学校の地震防災学習の観点での見学など、多くの方々にご来場頂いています。
- 詳しくは、弊社ホームページ (<http://www.hanshin-exp.co.jp>) で、12月18日(金)よりお知らせ致します。